



だより
Smiles and Dreams for All

2018年秋号
2018.11.10発行

●社会福祉法人 隆生福祉会
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里 1-3-22
TEL 06-6701-5820
FAX 06-6705-5108
<http://www.smile-yume.com>

HEAD LINE

- ゆめ玉造保育園 開園
- 大阪大学 ワークショップ開催
- ゆめパラティース 長寿のお祝い
- フィンランド視察の報告
- ゆめ研修センター 開設
- 発表報告
- 施設フェスティバル
- ゆめ中央保育園 運動会
- ゆめファミリー BBQ
- 家族介護事業

～「ゆめ玉造保育園」開園に向けて～ すぐれた人財の育成に、より一層力を入れて参ります



社会福祉法人 隆生福祉会
理事長 藤本 加代子



フィンランド式保育を 教えていただきました



就学前教育環境研究所
「Pedasis(ペダシス)」代表/
国営オムニア職業学校
保育士養成学科 教師
ピリヨ・サレルボ氏

世界の最先端を走るフィンランドの保育園を多数作ってこられたピリヨ氏。森や公園の中の素晴らしい保育園で、子ども達が思いっきり楽しんでいます。

そのピリヨ氏が10月に来日され、「探求活動的な学びと遊び」等、フィンランド式保育の多くのノウハウを教えていただきました。

ゆめ中央保育園、ゆめ玉造保育園ともに、ますますフィンランドのエッセンスを散りばめた保育園になっていきます。

地鎮祭を行いました

8月28日、ゆめ玉造保育園の建設予定地にて、地鎮祭を行いました。地域の役員のみなさまや設計、建築に関わるみなさまと顔を合わせ、工事の安全と、保育園の繁栄を祈願しました。



▲ゆめ玉造保育園 完成予定模型



▲真田山 三光神社より神職にお越しいただきました

ゆめパラティース

大阪大学 博士課程プログラム ワークショップ開催

大阪大学 COデザインセンター 特任講師の金森サヤ子先生による「超域イノベーション博士課程プログラム」の授業の一環として、ゆめパラティースにて見学・質疑応答が行われました。授業テーマは、「持続可能な健康長寿社会を実現するための介護福祉分野に必要なアクション」。施設の現場を見て体験し、様々な質疑応答が行われました。



社会的課題を、
境域を超えて多
角的視点で学ば
れているみなさ
まに、高齢者施設
の現場を肌で感
じていただく良
い機会になりました。

視察にお越しくださいました

- 4月 AU Optronics Corporation (台湾)
- 7月 社会福祉法人 佐賀整肢学園 (佐賀県)
- 8月 宮城県議会 保健福祉委員会 (宮城県)
- 9月 洲本地区民生委員児童委員協議会 (兵庫県)
- 11月 京都府議会 府民生活・厚生常任委員会 (京都府)
- 12月 京都府社会福祉協議会 福祉人材・研修センター (京都府)
※予定

講演させていただきました

- 5月 大阪滋慶学園
- 7月 同志社大学 同窓会 同志社校友会
- 8月 京都府議会
- 9月 学研ホールディングス (福岡県・東京都・大阪府) /
株式会社日本ビジネス開発
- 10月 京都女子大学 現代社会学部 サービス経営特論 /
関西大学 政策創造学部 関西経済・産業政策講座
- 12月 大阪大学 全学教育推進機構 先端教養科目講座 ※予定

メディアで紹介していただきました

- 2月 日本経済新聞／シルバー産業新聞
大崎タイムス (宮城県) / 石巻日日新聞 (宮城県)
- 4月 毎日新聞
- 5月 「週刊現代・理想の特別養護老人ホーム」5月26日号 (講談社)
- 7月 「通販生活」2018盛夏号 (カタログハウス)
- 8月 「衆知」9-10月号 (PHP研究所)
- 10月 神戸新聞 / 「月刊誌WAM」11月号 (福祉医療機構) /
認知症ねっと (<https://info.ninchisho.net/>)

105歳!

尼崎市男性最高齢 ～稲村和美市長に お祝いしていただきました～

尼崎市長・稲村和美氏が、ゆめパラティースの敬老のお祝いにお越しくださいました。「入居者のみなさんがお元気で、とても良いお顔をされていますね」と驚かれ、「職員のみなさんのお世話が良いのでしょうか」とおっしゃっていました。尼崎市の男性最高齢であるご利用者様は、市長から長寿の秘訣をたずねられ、「腹八分目で医者いらず!」と答えていらっしゃいました。



►稲村和美市長と
記念撮影



5月16日～23日 Finland視察

エスポー市にある「オムニア職業学校」で開催された、アジアイベントに参加しました。藤本加代子理事長が、今春、隆生福祉会で2ヶ月に渡り実習を受けていたヴェーラさんとともに、パネルディスカッションに登壇。フィンランドと隆生福祉会との交流の歴史や意義、実習の成果等について、対談形式で発表いたしました。フィンランドの方々をはじめ、中国・韓国等アジア各国の多数の参加者が、興味深く聞き入って下さいました。



ゆめあまみ 「理想の特養 全国58施設」に 選ばれました

ゆめあまみが週刊現代で「理想の特養」として紹介されました。数ある施設の中から選ばれ、とても光栄です。今後も、ご利用者様が尊厳を持ち、自分らしく健やかに過ごしていただけるよう、法人一丸となって努めて参ります。





「ゆめ研修センター」開設

近鉄針中野駅前に、研修センターがオープンしました。今後、隆生福祉会の研修の拠点となります。

明るく広い講義室、実習用トイレを設置した介護実習室、そして北欧のインテリアで統一したフィンランドルームなどがあります。



▲本格的なフィンランドルーム



▲講義室には大きなスクリーン

職員のキャリアアップ育成システムである【階層別研修】【職能研修】【教養研修】【海外研修】の他様々な研修を、更に充実させ実施して参ります。

このセンターは研修だけでなく、国際交流や職員の交流の場としても活用します。

「学研介護サポート」

eラーニングシステム導入

パソコンやスマホを使って、24時間いつでもどこでも学習できるeラーニングシステムを導入しました。自己のスキルアップのため、空き時間を有効に活用することができます。毎月配信される様々な講義で、介護福祉士としての基礎知識と実践手技について学びます。確認テストで、学習成果を振り返ることもできます。

職員の知識の均一化に、効果を発揮しています。



高齢者住宅新聞主催 “ケアワンコンテスト” in 東京 介護事例発表会にて発表



特別養護老人ホーム ゆめパラティース

エスコート 森田 愛生

昨年、福祉を学ぶ専門学生とエスコートたちと一緒に取り組んだ、「夢を叶えるプロジェクト」。

ご利用者様の“結婚式を写真に残したい!!”という夢を叶えるため企画されたこのプロジェクトについて発表を行いました。緊張しながらも一人で堂々

発表するエス

コートの姿に、審査員の方からは「特別賞を贈りたい」との嬉しいコメントをいただきました。



介護技術・コミュニケーション研修

基礎編

Care Me Tender研修



隆生福祉会では、コミュニケーションの基本技術を、“Care Me Tender(ケア・ミー・テンダー)”として10要素を定めています。「どのような表情・しぐさを“優しい”感じるのか」について学習し、「優しくケアしてほしい」という気持ちに寄り添い、応えられるコミュニケーションスキルの習得を目指しています。VR(バーチャルリアリティ)を用いて、アルツハイマー型認知症のご利用者様の認知の仕方を疑似体験し、さらに理解を深めています。

実践編

アンドロイドロボ テレノイド研修



株式会社テレノイドケア CEO
ゆめ研修センター 特別教授

宮崎 詩子先生



株式会社テレノイドケアの宮崎詩子先生に「ゆめ研修センター」の特別教授に就任していただき、今年から開始した研修です。テレノイドに接するご利用者様の表情や行動から、その方の心をひも解くヒントを掴み、コミュニケーションエラーの原因と解決方法を学んでいます。これにより「ご利用者様の心を大切にするケア」を更に充実させて参ります。

外部研修会で発表しました

◆ 大阪老人福祉連盟研修会

「介護ロボットの活用」



介護業界の課題である人材不足や腰痛対策のひとつとして、介護ロボットの導入・活用は不可欠です。当法人では、介護ロボットを積極的に導入しており、ゆめあまみではシルエット見守りセンサをはじめ、多くの介護ロボットが活躍しています。今回は、その活用方法を発表し、効果を紹介する良い機会となりました。



特別養護老人ホーム ゆめあまみ
副施設長 中野 真治

◆ オンブズマン機構大阪主催研修会

「学びを通して、認知症のある人々への気づきを深める」



「職員全員が認知症を理解する」というゆめあまみでの共通目標のもと、定期的に開催してきた勉強会の成果を発表しました。

他の介護施設での様々な取り組みや、専門職の方からのご意見を聞くことができた有意義な時間となりました。

特別養護老人ホーム ゆめあまみ
ケアマネジャー 安松 良之

フェスティバルを開催しました!!



特別養護老人ホーム ゆめあまみ

フィンランドからの実習生が、屋台を出したリソーラン節を踊ったりと、大活躍してくださいました。松原第五中学校の吹奏楽部のみなさまによる演奏、職員の合唱・バブリーダンスなどが披露され、ご利用者様はじめご家族様や地域のみなさまにもお楽しみいただき、笑顔満開の1日となりました。

◀大阪保健福祉専門学校のみなさまとフィンランドの実習生



★ ゆめ中央保育園 運動会開催 ★

今年の運動会は屋内での開催となりました。子ども達はご家族様や地域の方々など多くのみなさまの前で、最高の姿を見せてくれました。

乳児組さんが楽しく遊んだり、ノリノリで踊ったりする姿に「かわいい!!」の大歓声!!



幼児組さんは竹馬を乗りこなし、流行の曲「U.S.A」に合わせてダンス! 黒のハッピにねじりハチマキ姿でお魚大漁~! と最後のセリフもばっちり決まりました。

特別養護老人ホーム ゆめパーティース

恒例のファッションショーでは、ご利用者様が思い出の服に身を包み、輝く笑顔でエスコートと一緒に登場されました。職員によるソーラン節、屋台では料理長自慢の特製コロッケ、手作りのゲームコーナーもあり、みなさまに楽しんでいただきました。ご家族様も記念写真をたくさん撮られ、思い出に残るフェスティバルとなりました。

▲ランウェイでエスコートとともに手を振るご利用者様



▲今年は中大江小学校の講堂をお借りして開催いたしました

たくさんの笑顔があふれました
お越しいただいたフィンランドのお客様からも、割れんばかりの拍手とお褒めの言葉をいただきました。

みなさまの温かいご協力に支えられ、全員が一丸となって取り組めた運動会となりました。

職員親睦会主催 サマーフェスタ ゆめファミリーBBQ

今年のサマーフェスタは、家族といっしょにバーベキュー! 各事業所の職員たちが家族とともにゆめパーティースへ集結しました。昼12時から夜9時まで、シフトの異なる職員も好きな時間に参加できるよう、開催時間を広く設定しました。スイカ割りやゲーム大会、花火など、職員や子供たちの笑い声が溢れました。職員も家族も親睦を深め、夏を思いきり楽しむことができた1日となりました。



都島区北部地域包括支援センター

大阪市家族介護支援事業イベント開催

「認知症にはならへん!なるかな?
なったらどうしよう?！」

5月23日 於 大阪市総合医療センターさくらホール

毎年恒例となったこのイベント。大阪市総合医療センターの地域医療連携センター長である吉川由希子氏の講演をはじめ、福祉用具の展示会や医療・介護に関する資料展示コーナー、看護師による相談窓口などを設け、多くの来場者で賑わいました。認知症に対する興味・関心の高さを再認識し、地域包括支援センターの担う役割の大切さを改めて実感するイベントとなりました。



▲全員で介護予防体操「うめぼしのうた」

◀来場者は300名を超えるました!